

**対象者：2000年1月から2019年9月30日までに京都大学医学部附属病院、山口大学医学部附属病院放射線科にて画像検査を受けられた患者さんへ**

- (1) **研究名：**Granulocyte-colony stimulating factor 産生消化器癌の画像所見の検討
- (2) **研究の目的：**Granulocyte-colony stimulating factor (G-CSF)産生腫瘍は様々な腫瘍で報告されていますが、消化器領域での報告例は稀です。腫瘍から産生される G-CSF や サイトカインによる白血球増多・炎症反応は、感染症等と誤認されることがあり、正確な診断が遅れ、治療戦略や加療内容に影響を及ぼす可能性があります。今回、同病変の経過と画像所見について検討し、早期診断に有用となりうる特徴的な画像所見がないかを検討します。
- (3) **研究期間：**2000年1月から2019年9月30日までに京都大学医学部附属病院放射線部、山口大学医学部附属病院放射線科にて画像検査が施行された患者データを対象とします。研究期間は京都大学大学院医学研究科・医学部及び医学部附属病院医の倫理委員会の承認日から5年間までを予定しています。
- (4) **倫理委員会の承認について：**本研究は京都大学大学院医学研究科・医学部及び医学部附属病院医の倫理委員会、山口大学医学部附属病院倫理委員会の審査を受け、研究機関長の承認を得ています。
- (5) **主な研究機関：**京都大学医学部附属病院  
(研究責任者及び情報についての責任者：富樫かおり)  
**共同研究機関：**山口大学医学部附属病院  
(研究責任者及び情報についての責任者：田辺昌寛)
- (6) **利用する情報の項目：**患者さんの放射線画像データ(CT・MRI・FDG-PET/CT)および関連する臨床データ(年齢・性別、臨床経過、血液検査、病理所見等)を個人のプライバシーなどに配慮し、匿名化した上で後ろ向きに観察します。専門の学会や学術雑誌に発表されることもあります。個人が同意できるような形での発表や、個人情報(氏名など)が外部に公表されることは一切ありません。
- (7) **研究拒否：**ご自分のデータを研究に利用されたくない方は、(9)の窓口までご連絡頂ければデータ提供を停止しますのでお知らせください。それにより、患者さんが不利益を受けることは一切ありません。
- (8) **研究計画書および研究の方法に関する資料の入手・閲覧について：**本研究の結果がまとまり発表できるようになった段階で、希望された場合には本研究に関する資料を、他の研究対象者の個人情報保護に支障がない範囲で入手・閲覧をすることが可能ですので、(9)の窓口までお知らせください
- (9) **問い合わせ先：**

〒606-8507 京都市左京区聖護院川原町 54

京都大学大学院医学研究科 放射線医学講座(画像診断学・核医学)

FAX:075-771-9709 電子メール: [diag\\_rad@kuhp.kyoto-u.ac.jp](mailto:diag_rad@kuhp.kyoto-u.ac.jp)

また、病院の相談窓口は下記の通りです。

京都大学医学部附属病院 相談支援センター

TEL:075-751-4748 電子メール: [ctsodan@kuhp.kyoto-u.ac.jp](mailto:ctsodan@kuhp.kyoto-u.ac.jp)